

英（三区）の祇園囃子について

英祇園囃子の篠笛について特徴的なこと、練習方法について説明します。
また、令和2年に楽譜を新しくしましたので、その内容についても説明します。

篠笛演目「出」「松風」「宮神楽」「はなま」「三好」

1. 篠笛の入る演目は「出」を含めて5曲あり、他地区と比べると多くなっています。
2. 今まで使用していた楽譜は、何度もコピーしているため見難くなっていますのでパソコンによる電子データにしました。合わせて篠笛に易しい調号一つに移調しました。また、篠笛の基本的な運指を使用して五線譜+数字譜とし、従来の指使いと大きく変わらないようにしました。
尚、この楽譜は作曲ソフト MuseScore を使用しています。
3. 運指は別紙に示しますが、日本の標準運指に加えて囃子で使われている運指「特七」「特7」「特0」もあります。「特7」は甲音であるため音が出にくくなっています。その場合は代わりに「7」で吹いても良いと思います。また、「特0」は筒音を甲音で吹くため不安定な音になっています。よって、今まで「特0」で吹いていた部分は同じ様な音程である「0」又は「七×」、甲音では「⑦」又は「7×」で吹けば音が安定しますので、このように変更して下さい。
4. 練習では、易しい囃子曲「松風」から始めます。呂音だけの楽譜ですので、慣れてきたら甲音で吹いて練習して下さい。他の曲も同様で、呂音で始めて甲音で練習するようにして下さい。
5. 吹き方の基本的な事、同じ音が続く音符の吹き方、装飾音符等は合同練習時に説明します。尚、装飾音符は慣れるまで無視して下さい。
6. 使用する篠笛は、7本調子を保存会から貸与します。購入される場合は竹製の囃子用7本調子または唄用7本調子、日音のプラスチック製唄用7本調子を推奨します。7本調子で統一します。
7. 初めは楽譜をみて練習してください。慣れてきたら、英祇園囃子の5曲をホームページに入れておきましたので、聞きながら練習して下さい。また、指使いが分かる動画も入れておきましたので参考にして下さい。この曲には太鼓や掛声が入っていますから、これに合わせて練習してください。ホームページは[芸能の郷天龍峡](#)で[検索](#)して、川路祇園まつりと進めば見るができます。また、CDも配布しますのでご利用下さい。

*不明な点等がありましたら下記までご連絡下さい。

英祇園囃子保存会 篠笛指導者 清水實 Tel 080-5109-3652